

第5章 水道ビジョンの基本理念

第5章 水道ビジョンの基本理念

5.1 上位計画との整合

上位計画である「第9次立山町総合計画」では、立山町が有する自然、歴史、生活基盤など、豊かな地域資源を活かしたまちづくりを進めるため、目指すべき町の姿として次の将来像を掲げています。

(町の将来像)

健やかなまち「健康・快適」たてやま

活力のまち「田園・交流」たてやま

学びのまち「教育・文化」たてやま

町の将来像の「健康・快適」にもあるように、“水”は、安全で快適なくらしやすいまちを形成する上での重要な役割を担っています。

水道事業においても、総合計画を基本としたまちづくりを前提に、町の将来像実現に向けての施策である「快適な生活環境の保全」に基づき、「おいしい水」の安定供給を維持していくことを目標とします。

よって、立山町水道ビジョンでは、おいしい水を次世代まで持続するための将来像として、基本理念を「豊かな自然のおいしい水を次代のために」と定め、計画を進めていくものとします。

基本理念：豊かな自然のおいしい水を次代のために

5.2 基本理念と基本方針

立山町水道ビジョンの基本理念「豊かな自然のおいしい水を次代のために」を実現するために、基本方針を設定して取り組んでいきます。

この基本方針については、厚生労働省の水道ビジョンでのキーワードを分類し、「安全」「持続」「強靱」の3項目について設定を行いました。

H25 新水道ビジョン水道の理想像

立山町水道ビジョン：基本方針



